



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成28年5月9日
東

上場会社名 株式会社ツバキ・ナカシマ 上場取引所
コード番号 6464 URL <http://www.tsubaki.com/>
代表者 (役職名)取締役兼代表執行役CEO (氏名)高宮 勉
問合せ先責任者 (役職名)取締役兼専務執行役CFO (氏名)小原 シェキール (TEL)06-6224-0193
四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績 (平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	8,939	△9.7	1,627	△17.2	1,264	△31.5	963	△36.1	963	△36.1	△842	△21.8
27年12月期第1四半期	9,896	15.2	1,965	17.5	1,844	37.0	1,507	64.0	1,507	64.1	1,078	915.5

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後 1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
28年12月期第1四半期	24	20	23	74
27年12月期第1四半期	38	42	—	—

(参考)

EBITDA 28年12月期第1四半期 2,031百万円 (△15.7%) 27年12月期第1四半期 2,410百万円

EBITDA=営業利益+減価償却費及び償却費。なお、EBITDAは金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外となっております。

(注1) 27年12月期第1四半期の希薄化後1株当たり当期利益については、新株予約権の残高がありますが、当社株式は27年12月期第1四半期においては非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円	%		
28年12月期第1四半期	92,092		42,917		42,898	46.6		
27年12月期	95,197		45,053		45,034	47.3		

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
27年12月期	—	—	—	33.00	33.00	—
28年12月期	—	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	30.00	—	33.00	63.00	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰 属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	19,300	△4.2	3,700	△5.3	3,300	△12.0	2,350	△18.3	59	09
通期	39,200	0.1	7,600	6.9	6,900	8.5	5,000	11.7	125	72

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名 一)、除外 一社(社名 一)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期1Q	39,789,200株	27年12月期	39,769,700株
28年12月期1Q	—株	27年12月期	—株
28年12月期1Q	39,786,931株	27年12月期1Q	39,221,300株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	4
3. 要約四半期連結財務諸表	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、中国やアジア新興国経済の成長鈍化がより鮮明になり、円高や原油安など景気下振れリスクが懸念され、先行き不透明な状況で推移しました。特に工作機械産業においては前年同期を割り込む受注減の状況が継続しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上収益は前年の売上収益が好調（対2014年比 2015年売上収益は15.2%増）であった事もあり、前年同四半期比9.7%減の8,939百万円となりました。また、円高による決算時円換算影響を差し引いた実質的な増減は5.5%減となっております。

営業利益につきましては、前年同四半期比17.2%減の1,627百万円となり、円高による決算時円換算影響を差し引いた実質的な増減は15.2%減となっております。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は963百万円（前年同四半期比36.1%減）となりました。また、税引後為替差損益の影響等を除いた調整後親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,165百万円（前年同四半期比12.1%減）となりました。

このような環境の中、当社グループは「“Further Profitable Growth（さらなる利益ある成長）”を実現し、企業価値を継続的に創造し続ける輝く企業を目指す」という経営理念のもと、“グローバル・ワン・ツバキ・ナカシマ”により、精密ボール業界におけるリーディングメーカーの地位の維持・発展を実現すべく努力しております。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

ボールビジネス

ボールビジネスでは、売上収益は7,716百万円（前年同四半期比8.4%減）となり、セグメント利益（営業利益）は1,475百万円（前年同四半期比15.2%減）となりました。

リニアビジネス

リニアビジネスでは、売上収益は1,130百万円（前年同四半期比17.8%減）となり、セグメント利益（営業利益）は62百万円（前年同四半期比55.4%減）となりました。

その他

その他については、売上収益は93百万円（前年同四半期比0.1%増）となり、セグメント利益（営業利益）は91百万円（前年同四半期比0.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、流動資産は前期末に比べ1,942百万円減少し43,643百万円となりました。これは現金及び現金同等物が654百万円減少し、営業債権及びその他の債権が1,435百万円、たな卸資産が26百万円減少したことによります。

非流動資産は前期末に比べ1,163百万円減少し48,449百万円となりました。これは有形固定資産が1,010百万円、無形資産及びのれんが210百万円減少したことによります。

流動負債は前期末に比べ876百万円減少し4,437百万円となりました。これは営業債務及びその他の債務が193百万円増加し、未払法人所得税等が600百万円、その他の流動負債が469百万円減少したことによります。

非流動負債は前期末に比べ93百万円減少し44,738百万円となりました。これは借入金が128百万円、繰延税金負債が68百万円減少し、その他の非流動負債が98百万円増加したことによります。

資本は前期末に比べ2,136百万円減少し42,917百万円となりました。利益剰余金が351百万円減少し、その他の資本の構成要素が1,803百万円減少したことによります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は16,565百万円と前連結会計年度末と比べ654百万円の減少となりました。当第1四半期連結会計期間の各活動におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1,201百万円の収入となりました。主要な要因は、税引前四半期利益が

1,264百万円となり、減価償却費及び償却費405百万円、営業債権及びその他の債権の減少1,149百万円などのキャッシュの増加要因があった一方で、利息の支払額124百万円、法人所得税等の支払額962百万円などのキャッシュ減少要因がありました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは155百万円の支出となりました。主要な要因は有形固定資産の取得による支出が161百万円、有形固定資産の売却による収入が5百万円となったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,242百万円の支出となりました。主要な原因は、配当金の支払額1,202百万円、借入金の返済による58百万円の支出、新株予約権の行使による18百万円の収入によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2016年12月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2016年2月15日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2016年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	17,219	16,565
営業債権及びその他の債権	11,123	9,688
たな卸資産	16,962	16,936
その他の流動資産	281	454
流動資産合計	45,585	43,643
非流動資産		
有形固定資産	20,766	19,756
無形資産及びのれん	24,742	24,532
投資不動産	3,755	3,755
その他の投資	208	191
繰延税金資産	73	152
その他の非流動資産	68	63
非流動資産合計	49,612	48,449
資産合計	95,197	92,092
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,978	2,171
借入金	155	155
未払法人所得税等	1,055	455
その他の流動負債	2,125	1,656
流動負債合計	5,313	4,437
非流動負債		
借入金	38,954	38,826
退職給付に係る負債	2,060	2,065
繰延税金負債	2,195	2,127
その他の非流動負債	1,622	1,720
非流動負債合計	44,831	44,738
負債合計	50,144	49,175
資本		
資本金	16,165	16,175
資本剰余金	10,343	10,351
その他の資本の構成要素	127	△1,676
利益剰余金	18,399	18,048
親会社の所有者に帰属する持分	45,034	42,898
非支配持分	19	19
資本合計	45,053	42,917
負債及び資本合計	95,197	92,092

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年 1月 1日 至 2015年 3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年 1月 1日 至 2016年 3月31日)
売上収益	9,896	8,939
売上原価	7,057	6,484
売上総利益	2,839	2,455
販売費及び一般管理費	899	851
その他の収益	25	36
その他の費用	—	13
営業利益	1,965	1,627
金融収益	17	12
金融費用	138	375
税引前四半期利益	1,844	1,264
法人所得税費用	337	301
四半期利益	1,507	963
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,507	963
非支配持分	△0	△0
四半期利益	1,507	963
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目		
確定給付制度の再測定	△2	△2
純損益に振り替えられない項目の合計	△2	△2
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	△452	△1,715
キャッシュ・フロー・ヘッジ	23	△72
売却可能金融資産の公正価値の変動	2	△16
純損益に振り替えられる可能性のある項目の合計	△427	△1,803
税引後その他の包括利益	△429	△1,805
四半期包括利益	1,078	△842
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,078	△842
非支配持分	△0	△0
四半期包括利益	1,078	△842
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	38.42	24.20
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	23.74

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	その他の資本の構成要素			
			新株予約権	確定給付制度の再測定	在外営業活動の為替換算差額	体キャッシュ・フロー・ヘッジ
2015年1月1日 残高	15,884	10,062	0	—	1,582	△328
四半期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△2	△452	23
四半期包括利益	—	—	—	△2	△452	23
株式報酬取引	—	—	0	—	—	—
利益剰余金へ振替	—	—	—	2	—	—
所有者との取引額等 合計	—	—	0	2	—	—
2015年3月31日 残高	15,884	10,062	0	—	1,130	△305

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	売却可能金融資産の公正価値の変動	合計				
2015年1月1日 残高	7	1,261	13,949	41,156	18	41,174
四半期利益	—	—	1,507	1,507	△0	1,507
その他の包括利益	2	△429	—	△429	△0	△429
四半期包括利益	2	△429	1,507	1,078	△0	1,078
株式報酬取引	—	0	0	0	—	0
利益剰余金へ振替	—	2	△2	—	—	—
所有者との取引額等 合計	—	2	△2	0	—	0
2015年3月31日 残高	9	834	15,454	42,234	18	42,252

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	その他の資本の構成要素			
			新株予約権	確定給付制度の再測定	在外営業活動の為替換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2016年1月1日 残高	16,165	10,343	0	—	463	△336
四半期利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△2	△1,715	△72
四半期包括利益	—	—	—	△2	△1,715	△72
株式の発行	10	8	△0	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	0	—	—	—
利益剰余金へ振替	—	—	—	2	—	—
所有者との取引額等 合計	10	8	0	2	—	—
2016年3月31日 残高	16,175	10,351	0	—	△1,252	△408

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			非支配持分	資本合計	
	売却可能金融資産の公正価値の変動	合計	利益剰余金			合計
2016年1月1日 残高	△0	127	18,399	45,034	19	45,053
四半期利益	—	—	963	963	△0	963
その他の包括利益	△16	△1,805	—	△1,805	△0	△1,805
四半期包括利益	△16	△1,805	963	△842	△0	△842
株式の発行	—	△0	—	18	—	18
剰余金の配当	—	—	△1,312	△1,312	—	△1,312
株式報酬取引	—	0	—	0	—	0
利益剰余金へ振替	—	2	△2	—	—	—
所有者との取引額等 合計	—	2	△1,314	△1,294	—	△1,294
2016年3月31日 残高	△16	△1,676	18,048	42,898	19	42,917

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年 1月 1日 至 2015年 3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年 1月 1日 至 2016年 3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,844	1,264
減価償却費及び償却費	445	405
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△8	17
受取利息及び受取配当金	△17	△10
支払利息	109	112
為替差損益(△は益)	92	321
固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
固定資産処分損	—	13
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	627	1,149
たな卸資産の増減額(△は増加)	103	△549
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	260	307
その他	△699	△749
小計	2,756	2,280
利息及び配当金の受取額	18	7
利息の支払額	△127	△124
法人所得税等の支払額	△793	△962
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,854	1,201
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△201	△161
有形固定資産の売却による収入	6	5
投資有価証券の取得による支出	△1	—
その他	△1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△197	△155
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	—	△1,202
長期借入金の返済による支出	△58	△58
新株予約権の行使による収入	—	18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58	△1,242
現金及び現金同等物にかかる換算差額	△101	△458
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,498	△654
現金及び現金同等物の期首残高	10,452	17,219
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,950	16,565

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

(1) セグメント区分の基礎

当社グループは事業を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「ボールビジネス」、「リニアビジネス」及び「その他」の3つを報告セグメントとしております。

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営責任者が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「ボールビジネス」は、精密球の製造販売を行っております。「リニアビジネス」は、ボールねじ及び送風機を製造販売しております。「その他」は、不動産の賃貸等を行っております。

セグメント間の取引の価格は、独立第三者間取引における価格で決定されております。

(2) 報告セグメントに関する情報

前第1四半期連結累計期間(自2015年1月1日至2015年3月31日)

(単位:百万円)

	ボール ビジネス	リニア ビジネス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
売上収益						
外部収益	8,427	1,376	93	9,896	—	9,896
セグメント間収益	—	—	11	11	△11	—
連結収益合計	8,427	1,376	104	9,907	△11	9,896
セグメント利益	1,739	139	91	1,969	△4	1,965
金融収益	—	—	—	—	—	17
金融費用	—	—	—	—	—	△138
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	1,844

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自2016年1月1日至2016年3月31日)

(単位:百万円)

	ボール ビジネス	リニア ビジネス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
売上収益						
外部収益	7,716	1,130	93	8,939	—	8,939
セグメント間収益	—	—	11	11	△11	—
連結収益合計	7,716	1,130	104	8,950	△11	8,939
セグメント利益	1,475	62	91	1,628	△1	1,627
金融収益	—	—	—	—	—	12
金融費用	—	—	—	—	—	△375
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	1,264

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。